

大連東軟信息学院短期留学を終えて感じたこと

経営学部 4年 清水丈生

私は中国渡航が今回で 2 回目となります。前回は山東省に行きましたが日程のほとんどが団体行動であったため、大学訪問や観光名所巡りなど決まった場所にしか行けませんでした。今回の留学では自由行動がかなり設けられていたため、語学の学習をすると同時に自由時間を通して中国の日常をより深く知ることを念頭に参加しました。

中国に来て初めに感じたのが大学風景です。中国では基本的に学生全員が学内にある寮で暮らしています。そのため生活用品は充実しており、学生達は学内及び学外周辺にあるお店を利用して調達します。また日本でも馴染みのローソンやマクドナルドなどがあります。商品を支払う場合はほとんどの方がスマホ決済で支払っていました。中国ではスマホ決済が主流になっており、場所によっては現金対応ができないところもありました。これから中国へ行く方は WeChat 或いは AliPay をインストールしておくことをお勧めします。しかしながらショッピングモールなど大きな店なら現金対応可能な店が多くありましたので、決して現金が使えないわけではありません。



▲寮近くにあるスーパー

※現金・スマホ決済両方可

次に物価がとても安いことです。現状中国の為替レートは 1 元=約 20 円程度となっています。スーパーの商品や外食など、ほとんどが 10 元前後で購入できます。特に価格で最も驚いたのは交通網がかなり便利だと感じたことです。私は留学期間中、タクシー・バス・路面電車を利用しました。タクシーは専用のアプリ「滴滴」を使って現在地付近を選択後、アプリに表示されたナンバープレートのタクシーに乗車し、下車時に WeChatPay で支払う形で行いました。日本ではタクシーの乗車額が高めの印象がありますが、中国では初乗り乗車 10 元程度で乗車できるためとても便利だと感じました。バス・路面電車は前乗り乗車先払い式になっており、乗車後すぐにお金を支払います。私は今回現金で乗車したので、現金の場合専用の回収箱に入れるだけで乗車できます。値段は基本的に 1 元（場合によっては 2 元）で終点の停留所までどこでもその金額で乗車できることに驚きました。大連の路面電車はかなり歴史のある電車で、満州時代の頃から今も現役で運転しているのです是非一度乗ってみてください。



▲大連路面電車（201 路線）

今回 14 日間の留学でしたが、あっという間の 14 日間でした。他の参加者や現地の方と話す機会がとて多く、メンバー同士と話していくにつれて大連市内だけでなく旅順や丹東など本来行く予定ではなかったところにも行けてとても良い経験でした。また自由行動を通して、語学研修で行った会話フレーズが様々な場面で活かせることができ、ますます中国語の語学力が身についてきたと思います。今回サポートしてくださった城西大学・大連東軟情報学院の皆様改めて感謝致します。この経験で学んだたくさんの方のことを今後に活かしていきたいと思っています。



▲旅順白玉山頂上